

施策番号	1603		
施策名	高齢者を支えるネットワークの推進		
概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、地域による見守りのネットワークを推進するとともに、生活上の安心・安全と健康の確保に向けたサービスを提供する地域包括ケアシステムの構築を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	老人福祉員訪問者数(人)	b	a	34,752	34,588	34,752	99.5%	b	1.00
2	地域包括支援センター相談件数(件)	b	b	260,502	264,917	273,527	96.9%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答						
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してらせるまちになっている。	c	c	23	146	203	105	31	508	c
				4.5%	28.7%	40.0%	20.7%	6.1%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		c	c	市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一人暮らしの高齢者等に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						28年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						27年度	B
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・地域包括支援センター相談件数は増えているものの、老人福祉員の活動など高齢者を地域で見守る取組に対する認知や理解が十分に広がっていないことから、4割の方がどちらとも言えないと回答していると考えられ、昨年度に引き続きc評価となっている。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	老人福祉員設置事業	41,092	42,111	良い	保健福祉局
2	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	2,960	3,037	普通	保健福祉局
3	配食サービス事業	96,245	109,088	良い	保健福祉局
4	地域包括支援センター運営事業	1,713,850	1,778,833	良い	保健福祉局
5	一人暮らしお年寄り見守りサポーター事業	1,327	2,568	良い	保健福祉局
6	配食サービス事業(60～64歳)	1,336	1,346	普通	保健福祉局
7	緊急通報システム事業	163,989	162,354	良い	保健福祉局
8	地域包括支援センター運営事業(地域における在宅医療・介護の連携(在宅療養)推進事業)	8,229	7,273	良い	保健福祉局
9	在宅医療・介護連携の地域展開	0	41,224		保健福祉局
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・高齢化率の上昇や単身世帯の増加を踏まえて、高齢者が地域において安心していつまでも生活できるよう、老人福祉員活動の推進や地域包括支援センターの機能の充実及び運営の質の維持・向上、地域の様々な社会資源の連携により、今後とも高齢者を支えるネットワークを推進していくとともに、これらの取組に対する認知や理解の広がるよう取り組む。

施策名	1603	高齢者を支えるネットワークの推進					
指標名	老人福祉員訪問者数（人）						
担当課	健康長寿企画課		連絡先	7 4 6－7 7 1 3			
1 指標の説明							
老人福祉員が訪問している一人暮らし高齢者数							
2 指標の意味							
高齢者を支えるネットワークの構築がどれだけ進んでいるかを示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度	
数値	34,752	34,588	164人減	34,752	過去5年間の最高値（平成27年度）	99.5%	
	全国順位	中長期目標			備考	(参考：過去5年の訪問者数) 23年度：31,315人 24年度：32,314人 25年度：33,855人 26年度：33,762人 27年度：34,752人	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新の数値を過去5年間の数値と比較して、 a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			6 基準説明				
			過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：34,752人（平成27年度） 平均値：33,199人 最低値：31,315人（平成23年度）				
7 評価結果							
27		28		29			
b		a		b			

指標名	地域包括支援センター相談件数（件）						
担当課	健康長寿企画課		連絡先	7 4 6－7 7 3 4			
1 指標の説明							
地域包括支援センターへの年間相談延べ件数							
2 指標の意味							
地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度	
数値	260,502	264,917	4,415件増	273,527	前年度実績の5%増の数値	96.9%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
単年度目標に対する達成率が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満			6 基準説明				
			積極的な対象者の発見を重視し、目標値の100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。				
7 評価結果							
27		28		29			
b		b		b			